

09 【鶴岡高専】

活躍する卒業生

○菅野 久幸（MINX 銀座店 ディレクター・取締役）

カリスマ美容師。高専在学時は野球部主将で寮生会会長。本校卒業後、大分美容専門学校通信課卒。MINX には 1999 年入社。原宿店店長や銀座店代表を歴任した後、取締役に就任。社内の教育・マネジメントも担当する。国内外の美容業界の発展のために尽力し、経営セミナーの講師としても活躍。著書に MINX 流「できる店長」革命。

○田中 大介（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科・講師）

高専を卒業後、脳の研究を志して、大阪大学に進む。現在は東京医科歯科大学で、脳が意識内容を生み出すメカニズムの解明に挑戦する。

○石井 智久（株式会社石井製作所・代表取締役社長）

鶴岡高専卒業後、長岡技術科学大学大学院在籍中に同社の経営者である父親が死去し、急遽、総務部長付として入社した。その後、職場内における意思疎通の悪さ、社屋の火災、右腕だった総務部長の死去等を乗り越えて、新工場を立ち上げ、代表取締役として会社を運営している。

○本間 剛（長岡技術科学大学・准教授）

高専在学時より、機能性のガラスの研究に取り組む。現在は二次電池やイオン伝導体に関する材料創製に関する研究を行っている。TV 番組チョコちゃんに叱られるに出演し、ガラスについて解説した。

○三浦 賢治（株式会社システナ・代表取締役社長）

電気工学科卒業。在学中は学生会長を務める。2016 年 4 月から現職。